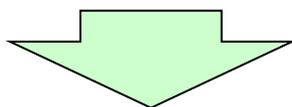


# 上田市（北陸圏・中部圏ブロック）

【計画期間 22年3月～27年3月】

- ・奈良期以降：国分寺建立。戦国時代以降上田城を中心とする、城下町として、また交通要衝地として発展
- ・明治時代以降：「蚕都」と呼ばれ養蚕産業及び商業の中心地

- 中心市街地からの大型店の移転・撤退及び郊外環状道路等へのロードサイド店増加等による中心市街地の空洞化
- 上田城跡公園への観光客増加が見られるが中心市街地商店街の通行量増加につながっていない



## ○ 中心市街地の人口

H10年：7,613人→H20年：6,897人（▲9%）

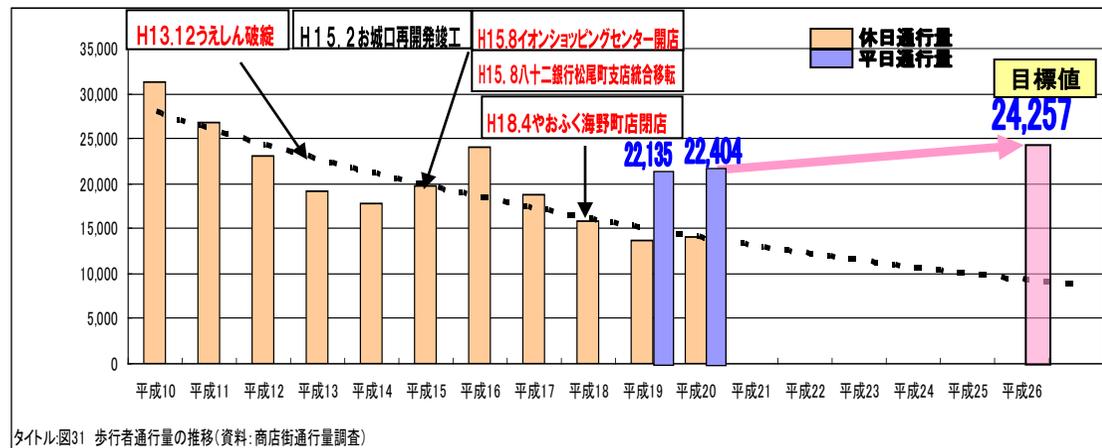
## ○ 歩行者通行量

（休日）H10年：31,369人→H20年：16,161人（▲48%）

（平日）H19年：22,135人→H20年：22,404人（▲1%）

目標	指標	現況値 (H20)	目標値 (H26)
市民、事業者等が連携し地域活力の向上	中心市街地の歩行者通行量（平日）	22,404人/日	24,257人/日
居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成	中心市街地の居住人口	6,897人	7,059人

## 【歩行者（自転車含む）通行量（平日・休日）の動向と数値目標】



タイトル: 図31 歩行者通行量の推移 (資料: 商店街通行量調査)

## ■ 歴史、文化等地域資源を活かし市街地の魅力向上を図り、街なか回遊を促す。

- 主要事業: ① 大手門地区商業等施設整備事業、② 交流サロン整備事業、③ 「軍手ィ」プロジェクト事業、④ 商業施設設置事業、⑤ まちなかレンタサイクル事業、⑥ 別所線再生支援事業、⑦ コミュニティバス運行事業など

## ■ 子育て支援、交流文化施設整備等により居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成を進める。

- 主要事業: ⑧ 総合保健センター整備事業、⑨ 交流・文化施設整備事業、⑩ 大手門地区中心市街地共同住宅整備事業、⑪ 天神三丁目住宅供給事業など

# 上田市中心市街地活性化基本計画の事業概要

1) 歴史、文化等地域資源を活かし市街地の魅力向上を図り、街なか回遊を促す。

## ① 大手門地区商業等施設設置事業

一富士跡地で地権者が誘致した民間事業者が、地元要望を入れ、戦国武将「真田」の物産販売、情報発信をし、街なか回遊を促進



商業施設

## ② 交流サロン整備事業

池波正太郎真田太平記館の交流スペースを、入場者以外の方も利用できるよう商店街の通り側へ移設



池波正太郎真田太平記館

## ③ 「軍手」プロジェクト事業

信州大学繊維学部の学生が商店街でオリジナルデザイン「軍手」を販売し街なかに誘客



軍手

## ④ 商業施設設置事業

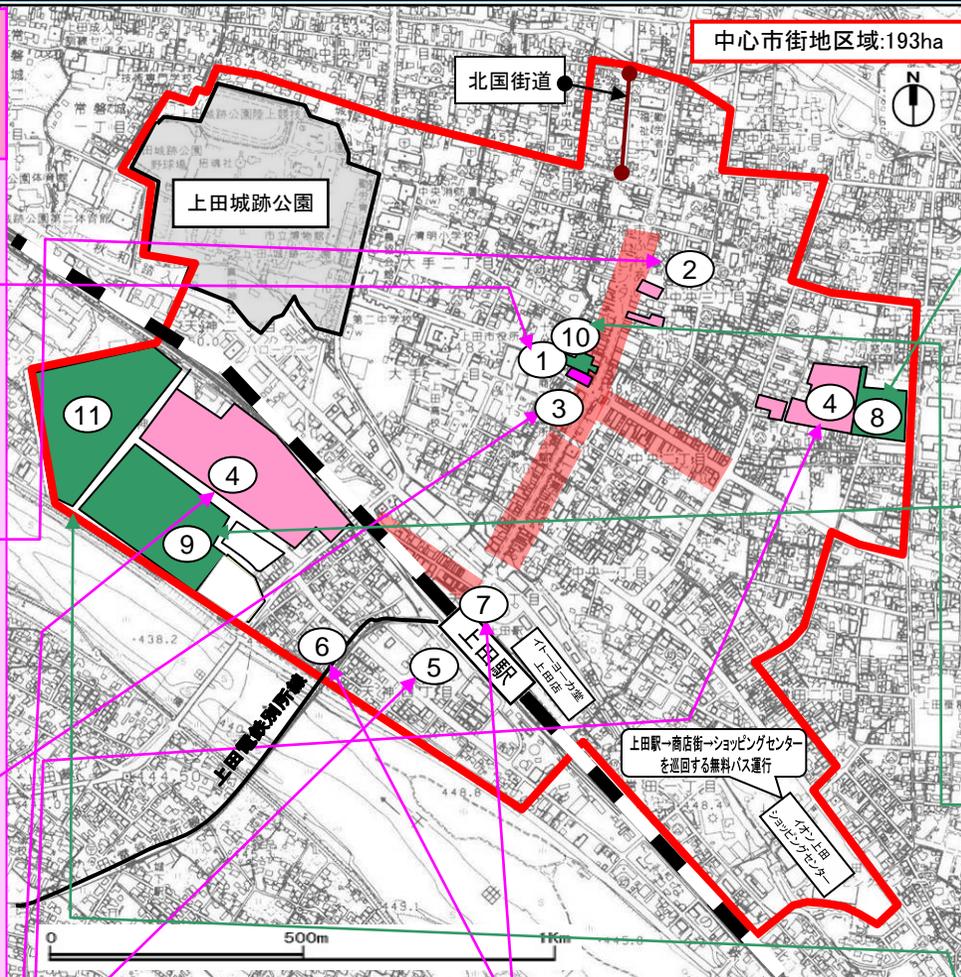
- ・旧第一中学校跡地にツルヤ(市街地居住者の利便性向上)
- ・JT工場跡地にイトーヨーカ堂(広域から買物客を呼び込む。)
- ・両者と近隣商店街との連携により街なか回遊に誘導



ツルヤ上田中央店



ARIO上田



中心市街地:193ha

北国街道



0 500m 1km

## ⑤ まちなかレンタサイクル事業

晴天率※が高い特色を活かし街なか観光に誘導

※全国平均11.2%  
上田市 41.0%  
(「上田市の統計」より)



上田城跡公園



## ⑥ 別所線再生支援事業

人にも環境にもやさしい公共交通「別所線」を存続させ郊外から誘客



別所線

## ⑦ コミュニティバス運行事業

市街地等を巡る循環バス、郊外と結ぶオレンジバスの運行により街なか回遊



オレンジバス

2) 子育て支援、交流文化施設整備等により居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成を進める。

## ⑧ 総合保健センター整備事業

旧第一中学校跡地に、全市民を対象にした基幹保健センター、子育て支援機能を含む施設を整備



総合保健センター

## ⑨ 交流・文化施設整備事業

JT工場跡地に地域や世代を超えた市民が集い交流できる公共施設(ホール、市民ギャラリー等)を整備し都市の魅力をも高める。



## ⑩ 大手門地区中心市街地共同住宅整備事業

上田駅、商店街及び上田城跡公園を繋ぐ中心の場所に民間事業者がマンション(14階65戸)を建築



現段階でのイメージ

## ⑪ 天神三丁目住宅供給事業

上田駅から徒歩圏のJT工場跡地に民間事業者が良質な戸建て住宅を130戸供給



建設が進む住宅